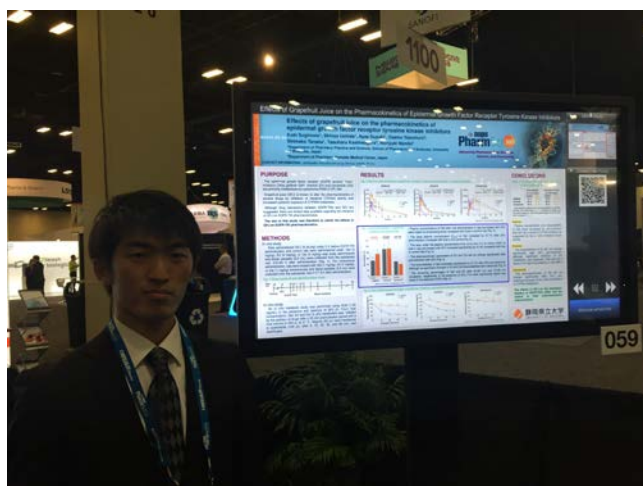


2019 米国薬学会にてポスター発表

2019年11月3日から6日にかけて、米国テキサス州サンアントニオにて開催された American Association of Pharmaceutical Scientists PharmSci 360 に参加しました。本学会では薬学に関する広い分野での発表がされており、特に薬剤学に関する発表が多く見られました。企業ブースは日本の薬剤学会と比較してブース一つ一つが広く、打錠機や粉体混合機といった製剤に関する機械の紹介や、臨床で用いる医療器具など医療に関する企業がそろっている印象でした。カジュアルな服装をした参加者が多いのも印象的でした。

私は「Effects of grapefruit juice on the pharmacokinetics of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors」という演題でポスター発表を行い、AAPS Best Abstract Award を受賞しました。本研究では、上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤である、ゲフィチニブ、エルロチニブおよびオシメルチニブと CYP3A 阻害剤として知られるグレープフルーツジュースとの併用による影響を評価しました。薬物 - 薬物相互作用に関する研究は他にもありましたが、食品と薬物との相互作用に興味を持ってくれたのか、多くの方々と議論を交わすことができました。

今回の学会を通じて、様々な国の方々と英語で会話をしました。自分の意見を相手に的確に伝えることは難しく、繰り返しトライすることで英語のコミュニケーションに対する苦手意識が少し減りました。多くの研究発表を聞く中で新しい知見もあり大変有意義な時間を過ごせました。今回このような機会をいただけたことに感謝し、今後の研究活動に活かせるよう日々精進して引きたいと思います。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程2年
実践薬学講座 杉本光輝